



学校ホームページ

ふるさと川上を愛する子どもに

校長 田辺 靖啓



「ふるさと」という言葉から連想するのはどんな光景でしょう？

私のふるさとは宇部で、幼いころから工場エリアの街中で育ちました。自宅からも学校の窓からも、日々煙突から煙がもくもくと湧き上がる様子を見て育ちました。友だちと遊ぶのは工場の空き地でした。今思えば当時の環境や公害に対する取組はどうだったのかな、とも感じますが、でもそんな光景も含め、自分にとっての懐かしい「ふるさと」です。

大人になってから、海山の眺めの素晴らしい場所や豊かな里山の近くで暮らした時期があり、自然に囲まれた暮らしの素晴らしさを感じました。でも、宇部に戻ってきて工場地帯を眺めると、やはり心が落ち着き、ホッとします。どのような場所であっても、自分が生まれあるいは育ったところが、自分にとってのふるさとなのだと思います。

「ふるさと川上を愛し」に始まる本校の教育目標を実現するために、子どもたちには川上のことをたくさん知ってほしいと、いつも思います。大きくなるにつれて行動範囲は広がっていきますが、ふるさと川上、ふるさと宇部、ふるさと山口を知り、その良さに気づくことが、ふるさとを愛する気持ちの土台となるはずです。

夏休みに小・中合同の学校運営協議会を開きました。今回は、委員さんだけでなく、そこに児童・生徒（希望参加）が加わり、教職員も交えてふるさと川上のことについて語り合いました。小学校からは5・6年生が11名参加しました。「川上地域の課題～わたしたちにできることはないだろうか」をテーマに、環境のこと、歴史や旧蹟のこと、高齢者問題のことの3つの視点から、熟議を行いました。テーマが、小学生には少し難しいかな、とも思ったのですが、中学生が活発に議論する様子に促され、小学生もたくさん発言してくれました。

「通学路によくごみが落ちている。学校にごみ箱を設置して、通学途中に拾ったごみをすぐ捨てられるようにしてはどうだろうか」「川上にはいろんな史跡があることがわかった。それをビデオなどでいろんな人に紹介してはどうだろうか」「お年寄りの方と接する機会が今はあまりないので、おもてなしするような場を作ってはどうだろうか」といった、小中学生らしい気づきやアイディアがたくさん生まれました。

これらを小・中それぞれの校内で広げ、実現可能なものを生徒会や児童会、総合的な学習の時間などで取り上げたり子ども同士で考えたりする中で、ふるさと川上にしっかり目を向け、よく知り、その良さにたくさん気づいてほしいと思います。

2学期が始まりました。残暑厳しい中でのスタートですが、保護者の皆様、地域の皆様にはどうぞ引き続きあたたかなお力添えをくださいますようお願いします。

令和5年度【前期】 学校評価アンケートの結果

A:あてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

質問項目	児童(402名)				保護者(回答数 288名)			
	A	B	C	D	A	B	C	D
学び合い	64	29	3	4	61	37	2	0
学習の理解	58	30	8	4	28	62	10	0
一人一台端末の活用	67	24	5	4	32	56	8	4
家庭学習	63	22	11	4	48	46	6	0
読書	50	25	16	9	40	45	14	1
あいさつ	62	23	10	5	22	58	18	2
言葉づかい	50	33	11	6	19	67	14	0
いじめの防止・友達の尊重	69	23	6	2	46	49	5	0
屋外遊び	53	24	16	7	37	47	15	1
メディアの適切な利用	50	28	13	9	16	46	32	6
健康	63	25	8	4	44	54	2	0
学校への相談	57	27	10	6	34	55	11	0
ぐんぐん教室	21	20	27	32	29	55	13	3
安心安全な学校	69	20	6	5	47	51	2	0
コミュニティ・スクールの取組					26	65	8	1
小中連携					58	36	5	1

7月に実施した今年度前期の学校評価の結果についてまとめました。

あいさつや言葉遣いについては、児童にくらべ保護者の肯定率が低くなっています。いつでもどこでも誰に対しても同じように気持ちのよいあいさつ、言葉遣いができるこことを価値づけていきます。

地域のぐんぐんサポーターさんが昼休みに来校し、ぐんぐん教室で「やまぐちっ子学習プリント」に取り組む子どもたちをサポートしてくださっています。1学期は、この機会を十分に生かせていませんでした。学力の定着、向上に向け、活用を進めていきます。

タブレットPCを持ち帰り、家庭学習に生かす取組を進めています。情報モラルを身に付け、デジタルメディアを効果的に使って学ぶことを推進する一方、外遊び、家庭での読書時間の確保、家庭学習の充実に向け、家庭と連携していく必要があると考えています。

12月実施予定の後期の学校評価に向けて、取組を進めています。今後とも、川上小教育へのご支援ご協力をお願いします。

学校保健安全委員会

7月27日(木)第1回学校保健安全委員会を開催しました。学校医・学校薬剤師の先生方をお招きし、保護者の皆さん、教職員で子どもたちの健康の保持や体力づくりについて協議しました。

まず、養護教諭、保健主任、体育主任、栄養教諭がそれぞれの取組を報告しました。学校医・学校薬剤師の先生方からは、睡眠やメディアコントロール、歯の健康の合言葉「ヒミコノハガイイゼ」、近視予防、禁煙教育について、最新の知見を教えていただきました。子どもたちの健康づくりに活かしていきます。



10月の予定	
日	曜
2	月
	スクールカウンセラー来校<午前> キャリア教育講演会 (5年6年PTAふれあい活動)
5	木
	防災学習(4年)
12	木
	就学時検診
13	金
	乳幼児とのふれあい学習(6年)
16	月
	教育実習<~27(金)> スクールカウンセラー来校<午後>
17	火
	県CBT方式確認問題(6年)
18	水
	校区安全マップ見直し(6年)
19	木
	県CBT方式確認問題(5年)
26	木
	修学旅行(6年)<~27(金)>
27	金
	給食試食会(1年PTAふれあい活動)